



壮瞥アグリレッスンの様子



果樹の剪定木を活用した木炭

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

北海道壮瞥高等学校

【壮瞥町】

異年齢交流の実施により、食育教育を生徒自ら企画・実践

はじめは？

本校は、胆振管内唯一の農業高校です。地域での行事や交流を通して地域に根ざした高校としての役割を果たすべく、日々取り組んでいるところです。平成26年に「地域農業科」に学科転換したことに合わせ、学校農場で取れた野菜や実習でつくった加工品などを販売するアンテナショップ「壮高ショップめぐみ」を開店し生徒が運営することによって、地域との交流がより一層図られています。また、「壮瞥アグリレッスン」と名付けた食育活動に取り組んでおり、生徒が壮瞥小学校の児童に農作物の栽培方法を教えるなど、農業と地域を結ぶ食育を通じて交流を図っています。

おもな活動

アンテナショップを校内に設置し、毎年6月から11月の月2回開店し、生徒は販売のための事前準備などを行った上、学校農場で栽培した草花、野菜、果実や野菜・果実を使用したジュース、パンなどの加工品を販売しながら地域との交流を図っています。また、異年齢(小学生)交流の実施により、食育教育を生徒自ら企画・実践し、児童と種まきや成長した苗の畑への定植、収穫作業、収穫したカボチャを利用しての調理体験などを通じて、地域の活性化を図っています。



街の花壇整備

生徒が自ら育てた花苗で街中の花壇整備に取り組んだり、野菜苗・花苗の販売で、地域の景観活動と交流にも積極的に関わっています。

ここが自慢

【地域との結びつきで地域産業の課題解決に貢献】

JGAP(農業生産工程管理)認証のための審査では、生徒代表自ら対応し取り組んできた農場運営について説明を行い、無事認証を受けることができました。

また、地域産業である果樹農家の課題であるリンゴの剪定木を有効活用するため、生徒が発案してリンゴ木炭の商品化に成功しました。さらに地域企業と連携したリンゴ木炭を使ったコーヒー豆の焙煎商品を開発するなど、地域と高校が結びつくことで、地域産業の課題解決に貢献しています。

生産・加工・販売の6次(産業)化の取り組みにより、地産地消・食育・都市と農村の交流等の推進による魅力ある農村づくりでも役割を果たしています。



アンテナショップ「壮高ショップめぐみ」

連絡先

代表者名：山川直樹(教頭)さん／設立:1948年／会員70名

住所：有珠郡壮瞥町滝之町235-13

電話番号：0142-66-2456

F A X：0142-66-2636

E-mail：sokou@sobetsu.jp

U R L：http://www.sobetsu.jp/sokou/